

令和7年度 白川郷学園研究構想

【学園の教育目標】

ひとりだち ～ 挑戦 創造 貢献 ～

【育成を目指す資質・能力】

- 挑戦：志を高くもって失敗を恐れず挑戦し、最後までやり抜く力
- 創造：互いのよさや違いを認め合いながら新たな価値を創り出す力
- 貢献：自分も他人も幸せになることを考え、行動できる力

【本年度、学園全体で取り組む学びづくりの視点】

- 児童生徒が自己調整しながら、「基礎的・基本的な内容を確実に定着できる学び
- 仲間と協働し、新たな価値や納得解を創造する探究的な学び
- 白川村の未来の創り手を育てる村民学のアップデート

【児童生徒の実態から】

- 失敗を恐れず挑戦し、最後までやりきることに課題がある。授業の中で、課題や方法等を自己選択・自己決定したり試行錯誤したりしながら粘り強く考え、学びの変容や高まりを自覚することができるようにすることで、より**主体的に探究**できるようにしていきたい。
- 現状に満足せず、仲間と新しいものを創り出すことが好きな児童生徒が多い。授業の中で、児童生徒自身が教科と教科、教科と村民学のつながりを自覚しながら、総合的、統一的、発展的に思考できる場を設け、**見方・考え方**を働かせながら探究できるようにすることで、そのよさ（=**見方・考え方**）を自覚できるようにしていきたい。
- 自分の目標や願いをもち、その具現に向けて考えを深めていく姿に課題がある。授業の中で、問題意識や相手意識をもち、自己調整しながら学びを深め、**知識・技能・概念等を児童生徒自らが獲得**できるようにしていきたい。

【研究主題】

新たな価値を創造する子の育成

新たな価値とは・・・

次の学びにつながる「主体性」、「見方・考え方」、「知識・技能・概念等」

研究仮説

子どもたちが教科と教科、教科と村民学のつながりや教科内の学びのつながりを自覚しながら、問題意識をもち、課題や方法等を自己選択・自己決定したり試行錯誤したりしながら粘り強く考え、学びの変容や高まりを自覚できるようにする。このような学びを継続すれば、次の学びにつながる「主体性」が涵養され、「見方・考え方」が豊かなものとなり、確かな「知識・技能・概念等」を獲得でき、新たな価値を創造したひとりだちできる一人ひとりになる。

研究内容

- (1) 縦のつながり（9年間の系統性）と横のつながり（教科間、教科と村民学の関連）を意図した探究的な単元・題材の構想 【指導計画の工夫】
- (2) 次の学びにつながる「主体性」、「見方・考え方」、「知識・技能・概念等」の育成 【指導方法の工夫】
 - ① 問題意識をもち、自己選択・自己決定して取り組むことができる学習環境の在り方
 - ② 自らの変容や高まりの自覚を促し、次の学びに生かす終末の在り方